

洪水想定、避難の最適ルート考える



真剣な表情で「逃げ地図」作りに取り組む参加者＝岐阜市神田町、「G's Dream」

災害に備え、避難場所までの経路や所要時間を示す「逃げ地図」を作るワークショップが、岐阜市神田町のにぎわい交流拠点「G's Dream(ジーズ ドリーム)」で行われ、同市内や近郊の親子7組、約20人が参加した。
(玉田健太)

「逃げ地図」災害の備え

岐阜市でワークショップ 親子ら防災意識高める

防災意識を高めてもらうと、岐阜信用金庫が損害保険ジャパンとの共催で開催。同社岐阜支店法人支社の新浪華次さんが講師を務めた。

洪水が発生したという想定で、参加者は用意された自宅付近の地図を使い、避難できる施設や場所に印を付けた。印を付けた地点までの避難に要する時間ごとに色を塗ったりしながら、最適な避難ルートなどに理解を深めた。

参加者は「思っていたより避難できる場所が家の周りにたくさんあることが分かった」「避難経路が意外に限られていた」などと話していた。